

もしもの時に備えて

1. 災害リスクの確認

まずは、この防災マップを見て、自宅や職場がある場所に**どんな災害リスクがあるかを確認**しましょう。

自宅などが、津波や洪水の危険性がある場所の場合、別途**津波ハザードマップ**や**河川洪水ハザードマップ**を見て、より詳細な被害想定や災害発生時に取るべき行動を確認しましょう。

各ハザードマップはお近くの支所または本庁災害対策課・河川課で配布しております。



ハザードマップは市ホームページでも公開しています。



(<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1534907391781/index.html>)

いわき市 ハザードマップ 検索

2. 非常持出品・備蓄品の準備

非常持出品

非常時（災害発生時）に最初に持ち出すものです。

- 飲料水（500mLペットボトル2本）
- 非常食（乾パンなど）
- おくすり手帳
- 感染症対策（マスクなど）
- 医薬品（常備薬）
- 携帯ラジオ
- 携帯電話充電器（モバイルバッテリー）
- 防寒着
- 雨具（レインコート）
- 懐中電灯
- 身分証明書（運転免許証など）
- 貴重品 など

非常持出品はリュックにまとめ、わかりやすい場所においておきましょう。

備蓄品

救援物資が届くまでの生活をするためのものです。

- 飲料水（1日3L/人を目安）
- 毛布
- 保存可能な食料（缶詰など）
- 工具
- タオル など
- ウエットティッシュ
- カセットコンロ

日頃から確認を！

備蓄品は少なくとも7日間の食料、3日間の水を用意しましょう。

3. 情報入手方法を知る

テレビ

各放送局の災害情報などから必要な情報をこまめに収集するとともに、NHK総合のデータ放送を活用しましょう。

NHK総合にチャンネルを合わせ、

①リモコンの「d」ボタン

②赤ボタン

③赤ボタン

④赤ボタン

で表示された画面で、開設避難所や避難情報を確認できます。



※リモコンの配列はテレビによって異なります。
※赤ボタンは画面が切り替わってから押してください。テレビによっては表示に時間がかかります。
エリア設定が「いわき市」になっている必要があります。

画面が切り替わったらココで操作

ラジオ

ラジオでも災害の情報や避難情報、避難所の情報を収集することができます。また、FMいわき（76.2MHz）では防災行政無線の放送を流すこともあります。

防災行政無線 広報車・水防信号

外でサイレン音が続けている場合は、災害が迫っている、または発生している状況です。状況を確認し、避難が必要な場合はすぐに行動に移してください。

携帯電話 スマートフォン

避難情報発令など緊急時には緊急速報メール（エリアメール）を配信します。また、市防災メールでは様々な情報をEメールで配信しています。



防災メールの詳細はこちら

インターネット

いわき市のホームページをはじめ、インターネット上の様々なウェブサイトから、防災情報や災害情報を収集できます。大規模な災害が発生した際には、情報が錯さうする場合があるため、情報入手先を確認しておきましょう。**デマには要注意！**

いわき市ホームページ



災害時には、避難情報や避難所開設情報、被害情報、被災者支援などの情報を確認できます。

いわき市ホームページ 検索

キキクル（危険度分布）



土砂災害や洪水など災害発生の危険度の高まりを地図上で確認できます。

キキクル 検索

重ねるハザードマップ



津波や洪水、土砂災害などの災害リスクを地図上に重ねて表示できるシステムです。

重ねるハザードマップ 検索

避難所の混雑状況確認



避難所の開設状況や混雑状況をVACANというシステムを利用し、地図上で確認できます。

いわき市 避難所 混雑 検索

気象庁福島地方気象台



福島県内の防災・気象情報や警戒情報などを確認できます。

福島 気象台 検索

マイ避難ノート



福島県が作成した、自分や大切な人の避難計画「マイ避難ノート」を作成できるウェブページです。

福島 マイ避難ノート 検索

いわき市 防災マップ

災害から
“自分の命、
大切な人の命”
を守るために

保存版

令和4年3月作成



最新の災害情報
避難施設情報掲載

平地区



？ 防災マップとは？

- ▶ このマップは、津波ハザードマップや河川洪水ハザードマップのほか、土砂災害警戒区域に関する情報などを地区ごとにまとめたものです。
- ▶ マップを見やすいところに貼り、自宅の災害リスクや近所の避難所・避難場所、避難経路の把握をしましょう。

※ 避難所とは、災害時に一定期間滞在する（生活する）ことを前提とした施設
避難場所とは、災害時に一時的に避難する施設のこと

◆ わが家の災害リスクは？

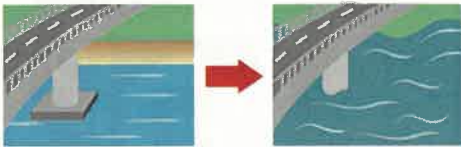
- ▶ マップをみて確認しましょう！

- ☐ 土砂災害
- ☐ 津波の浸水
- ☐ 河川の洪水

+one point
わが家に災害リスクがあったら、一緒に近くの避難所や避難場所、安全な知人宅もチェックしておきましょう

災害について学びましょう！

洪水



●大雨時は河川が急激に増水します。河川や水路には近づかないようにしましょう。



●アンダーパス（地下道）など冠水しやすい場所に注意してください。

土砂災害

- 身の周りにある「土砂災害警戒区域」や「土砂災害危険箇所」などに注意しましょう。
- 大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された場合は、早めの避難を心がけましょう。
- 土砂災害の種類と前兆現象（山鳴り、水の噴き出しなど）を知り、前兆現象を見かけた場合はすみやかに避難しましょう。

がけ崩れ ☐ がけにひび割れができる ☐ 小石がばらばらと落ちてくる ☐ がけから水が湧き出る	土石流 ☐ 急に川の水が濁る ☐ 雨が降り続けているのに水位が下がる ☐ 山鳴りがする	地すべり ☐ 地面がひび割れたり陥没したりする ☐ 樹木が傾く ☐ 井戸や沢の水が濁る
--	--	--

地震・津波

- 地震が起きたら、頭部を保護するなどまず身の安全を確保してください。
- 津波警報以上が発表された場合、サイレンが鳴ります。ただちに避難しましょう。
- 津波は想定以上に高くなることがあります。より高く、より遠い所へ避難しましょう。



気象情報・避難情報の種類と取るべき行動

気象庁による防災気象情報 災害の危険性	高	特別警報	重大な災害の危険性が著しく高まっている状況
		土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険性が高まっている状況
		記録的短時間大雨情報	数年に一度（いわき市では、1時間雨量100mm）の猛烈な雨が観測された場合に発表
		大雨警報・洪水警報	大雨、洪水によって重大な災害がおこるおそれのある状況
		大雨注意報・洪水注意報	大雨、洪水によって災害がおこるおそれのある状況

避難情報と取るべき行動	大雨の場合					津波の場合	
	警戒レベル	発令される避難情報	状態	具体的な状況	取るべき行動	種類	取るべき行動
	5	緊急安全確保	災害が発生または切迫	・大雨特別警報が発表 ・河川が氾濫または切迫 ・土砂災害が発生	ただちに 命を守る最善の行動 をとる	大津波警報（避難指示）	沿岸部や川沿いにいる人（特に津波ハザードマップで色がついている場所にいる人）は、 ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 してください。津波は繰り返し襲ってきますので、 津波警報が解除されるまで安全な場所から離れず避難 を続けてください。ここなら安全と思わず、 より高くより遠い場所を目指して避難 しましょう！
	4	避難指示	災害のおそれが高い	・河川が避難判断水位を超え、氾濫危険水位に到達することが予想される状況 ・土砂災害発生のおそれが高い状況	危険な場所から 全員すみやかに避難 する	津波警報（避難指示）	海の中にいる人もしくは海岸堤防などより海側にいる人は、 ただちに海岸から離れて ください。注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。
	3	高齢者等避難	災害のおそれがある	・河川が氾濫注意水位を超え、避難判断水位に達することが予想される状況 ・土砂災害発生のおそれがあり、降り続く雨により危険度が高まると予想される状況	避難に時間のかかる人 （高齢者や障がいのある人）は、危険な場所から 避難 する	津波注意報（避難指示）	
	2	—	気象状況の悪化	—	ハザードマップなどで自分の避難行動を確認する		
	1	—	今後気象状況悪化のおそれ	—	災害への心構えを高める		

避難情報が出る前に、身の回りで異常や危険を感じたら、すみやかに避難を開始してください！

避難をする時は

避難情報が発令された場合、危険な場所にお住まいの人はすみやかに避難を開始してください。状況に応じて最も安全な避難行動をとれるよう、日頃から家族や大切な人と話しておきましょう。

避難の考え方

避難とは避難所への避難だけでなく、次に示す行動すべてをいいます。早めの避難を心がけ、また、避難の選択肢を増やしておくことも大切です。

立退き避難（水平避難）

【状況】
浸水想定区域や土砂災害が発生するおそれのある地域で、そこにいることが危険な場合

【避難行動】
避難所（※）、避難場所、近くの高台、災害のおそれが少ない安全な親戚の家などへ**立退き避難**

※市が開発する避難所は市ホームページやテレビのデータ放送などで確認してください。



垂直避難

【状況】
頑丈で高い建物内にいる場合や、近隣にそのような建物があり避難が可能な場合

【避難行動】
建物の2階以上へ**垂直避難**



【状況】
夜間や、危険が迫っていて屋外への避難がかえって危険な場合

【避難行動】
建物の安全な場所へ**屋内退避**



避難時に注意すること

自宅を出る前に・・・

- 非常持出品を忘れず持っていきましょう。
- ガスの元栓を閉めましょう。
- 電気のブレーカーを落としましょう。
- 避難先などを書いた書置きを残しましょう。



隣近所へ声をかけ合いましょう

ご高齢の方、子ども、障がいのある方などは避難に時間がかかるため、早めの避難が必要です。災害時には地域の皆さんで協力し合って安全に避難しましょう。



原則徒歩で避難しましょう

自動車が水に浸かると動かなくなることや、水圧で扉が開かなくなり車内から脱出できなくなることがあり危険です。自動車での避難はできるだけ避け、原則徒歩で避難しましょう。



安全な経路で避難しましょう

川やがけの近く、高いブロック塀などがある道は避けて避難しましょう。大雨により、側溝やマンホールの蓋が外れている場合があるので、転落しないように十分に注意しましょう。



災害用伝言サービス

災害時に、自分の安否を大切な人に伝えたり、相手の安否を確認したりすることができる声の伝言板です。インターネットを利用した災害用伝言板（web171）もあります。



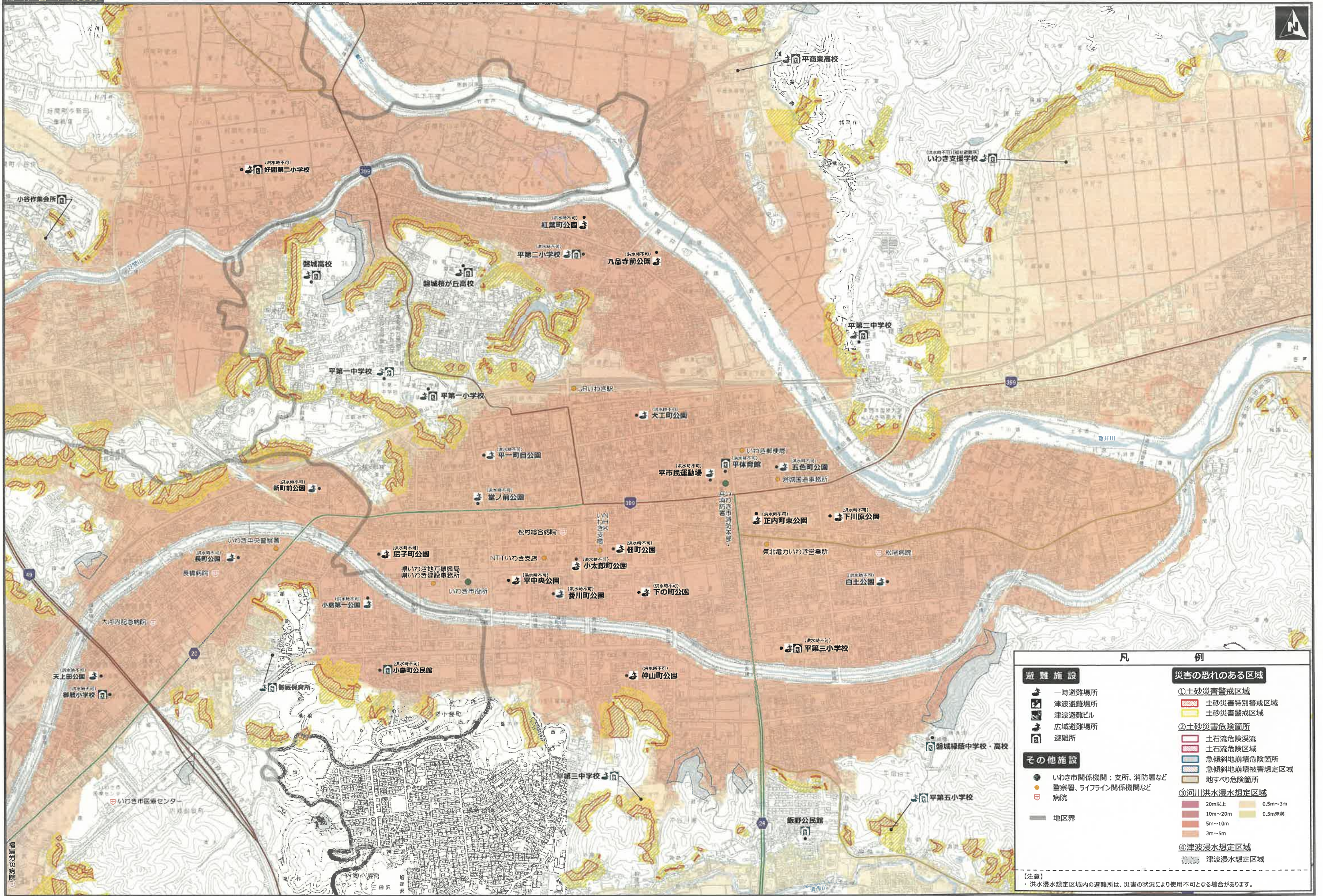
毎月1日と15日に体験ができますので、練習してみましょう！災害時には各携帯会社の災害用伝言板も利用できます。

Step.1 **171** 災害用伝言ダイヤル

Step.2 伝言を**録音**する **1** 伝言を**再生**する **2**

Step.3 録音または再生する電話番号を入力
(X X X X) X X - X X X X
固定電話の場合、**市外局番**（0246など）から入力
携帯電話番号でも録音・再生可能です。

Step.4 ガイダンスに従い録音または再生



避難施設

- 一時避難場所
- 津波避難場所
- 津波避難ビル
- 広域避難場所
- 避難所

その他施設

- いわき市関係機関：支所、消防署など
- 警察署、ライフライン関係機関など
- 病院
- 地区界

災害の恐れのある区域

①土砂災害警戒区域

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

②土砂災害危険箇所

- 土石流危険渓流
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 急傾斜地崩壊被害想定区域
- 地すべり危険箇所

③河川洪水浸水想定区域

20m以上	0.5m～3m
10m～20m	0.5m未満
5m～10m	
3m～5m	

④津波浸水想定区域

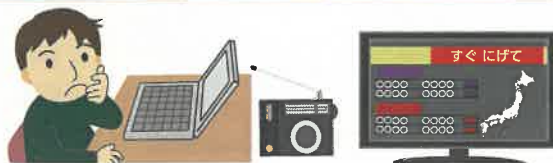
- 津波浸水想定区域

【注意】

・洪水浸水想定区域内の避難所は、災害の状況により使用不可となる場合があります。

津波情報を収集する

すぐに避難するためには、いち早く情報を集める必要があります。テレビやラジオ、インターネットなど様々な手段を使って情報を集めましょう。



津波情報の入手先

テレビ



各放送局やリモコンのdボタンから災害情報を確認できます。

インターネット



いわき市や気象庁などのホームページから災害情報を確認できます。

広報車・防災行政無線



地震の後サイレンが聞こえたら危険な状況です。すぐに避難の準備を！

防災行政無線の放送内容は0246-21-9901で確認できます。

ラジオ



避難先や車の中から災害情報を確認できます。FMいわき(76.2MHz)では防災行政無線の放送を流します。

携帯電話・スマートフォン



緊急速報メールや市防災メールで災害情報を確認できます。

津波フラッグ



海水浴場や海岸付近で津波警報などをお知らせします。避難の合図です！

市公式SNSなどでも情報を発信しています！



QRコードを読み込んで簡単アクセス！

いわき市 Twitter

災害時には避難情報や避難所開設情報などをいち早くお知らせします。



@City_Iwaki

いわき市 ホームページ



災害時には避難情報や避難所開設情報、被害情報、被災者支援などの情報を発信します。

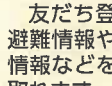
いわき市 Facebook



災害時には避難情報や避難所開設情報などをいち早くお知らせします。

いわき市役所

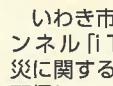
いわき市 LINE



友だち登録をすると避難情報や避難所開設情報などを簡単に受け取れます。

@iwakicity

いわき市 YouTube



いわき市公式動画チャンネル「iTube」では防災に関する講座を動画で配信しています。



iTube

いわき市防災メールでは様々な情報を入手できます！

いわき市防災メールでは、地震・津波情報のほか、気象情報や避難情報、避難所情報をEメールで誰でも簡単に受け取ることができます。

登録方法

1

右のQRコードを読み取り、iwaki@entry.mail-dpt.jpに空メールを送信！※



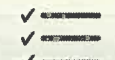
2

確認用(仮登録)のメールが届いたら、メール本文から登録画面(本登録)へ！



3

様々な配信項目の中から、配信を希望する項目を選択して本登録！



※迷惑メール対策をされている方は「iwaki-bousai@city.iwaki.fukushima.jp」からメールが受信できるように設定してください。

いわき市津波ハザードマップ索引図

図面番号 ①	久之浜・大久地区	久之浜町末続、久之浜町金ヶ沢、久之浜町久之浜、久之浜町西、久之浜町田之網、大久町大久、大久町小久
図面番号 ②	四倉地区	四倉町、四倉町上仁井田、四倉町下仁井田、四倉町塩木、四倉町狐塚、四倉町細谷、四倉町大森
図面番号 ③	平地区	平泉崎、平馬目、平原高野、平下神谷、平荒田目、平上大越、平下大越
図面番号 ④	小名浜地区	江名、折戸、中之作、永崎、小名浜、小名浜下神白、小名浜上神白、小名浜岡小名
図面番号 ⑤	小名浜地区	小名浜、小名浜岡小名、小名浜大原、小名浜島、小名浜住吉、小名浜南富岡、泉町滝尻、泉町下川、泉町本谷
図面番号 ⑥	勿来地区	小浜町、岩間町、東田町、佐糠町、植田町、後田町、仁井田町、石塚町、中岡町
図面番号 ⑦	勿来地区	錦町、山田町、富津町、沼部町、勿来町



いわき市

津波

ハザードマップ

図面番号 ⑤

索引図は裏面をご覧ください



小名浜港（いわき市撮影）

いわき市は太平洋に面した約60kmの海岸線を有しています。海は漁港、国際貿易港、海水浴場、景勝地などを形成し、私たちの暮らしを豊かにする一方、平成23年3月11日に本市を襲った「東北地方太平洋沖地震」に伴う巨大津波は多くの尊い命や財産を奪いました。

この津波ハザードマップは、津波発生時の避難の目安となるように、津波の浸水想定区域、浸水想定深、津波避難場所などの情報を示しています。

津波から身を守るためには「**すぐ**」「**高いところ**」に避難することが大切です。事前に避難場所や避難経路などを確認しておきましょう。

掲載している地区

小名浜地区

小名浜、小名浜岡小名、小名浜大原、小名浜島、小名浜住吉、小名浜南富岡、泉町滝尻、泉町下川、泉町本谷

マップを見終わったら最寄りの避難場所を記入しましょう。



家族が全員一緒に避難できるとは限りません。家族の集合場所を決めましょう。



津波ハザードマップはいわき市ホームページでも公開しています。



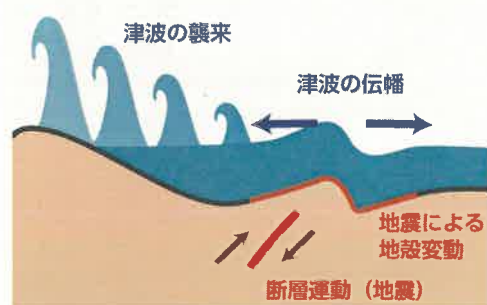
ダウンロードなどはこちらから

(<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/100100003871/index.html>)

他にも様々な防災情報をお知らせしています。

津波を知る

津波の発生



海底下で大きな地震が発生すると、海底に上下方向のずれが現れます。このとき海面が大きく動いて、大きな波となって四方八方に伝わるものを**津波**といいます。

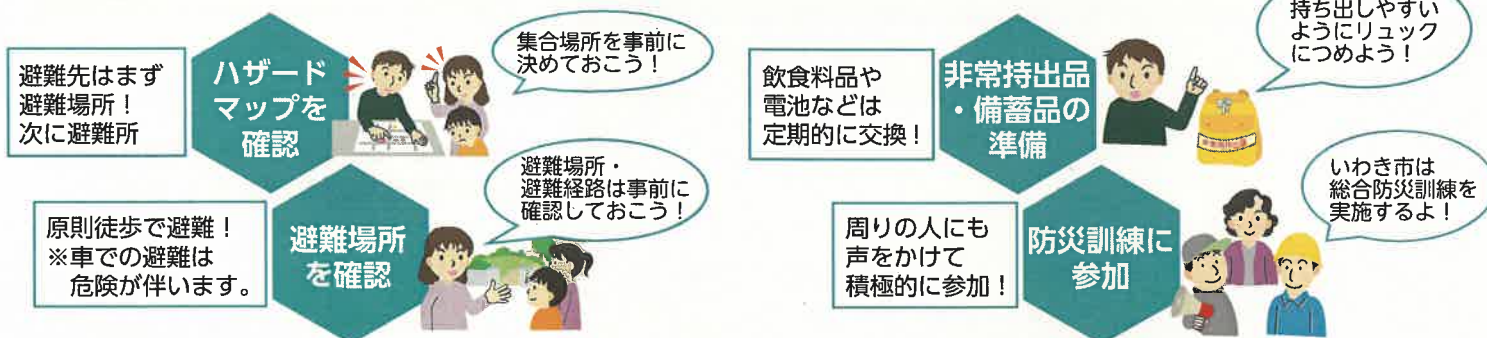
津波のおそれがあると

地震が発生し、津波の危険性がある場合、気象庁から**津波警報**などが発表されます。津波情報の種類とそれぞれの津波に関する情報は次のとおり分類されます。

種 類	予想される津波の高さ		想定される被害	取るべき行動	防災行政無線の広報
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現			
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。	沿岸部や川沿いにいる人（特に津波ハザードマップで色がついている場所にいる人）は、 ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 してください。津波は繰り返し襲ってきますので、 津波警報が解除されるまで安全な場所から離れず避難 を続けてください。ここなら安全と思わず、 より高くより遠い場所を目指して避難 しましょう！	約3秒間のサイレン音が連続します。 サイレン 3秒吹鳴 2秒休止 サイレン 3秒吹鳴 2秒休止 サイレン 3秒吹鳴 2秒休止
	10m (5m<高さ≤10m)				
	5m (3m<高さ≤5m)				
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	約5秒間のサイレン音がゆっくりと続きます。 サイレン 5秒吹鳴 6秒休止 サイレン 5秒吹鳴 6秒休止	約5秒間のサイレン音がゆっくりと続きます。 サイレン 5秒吹鳴 6秒休止 サイレン 5秒吹鳴 6秒休止
津波注意報	1m (0.2m≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが出し小型船舶が転覆します。	海の中にいる人もしくは海岸堤防などより海側にいる人は、 ただちに海岸から離れてください 。注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	チャイムと肉声広報が流れます。

津波に備える

津波から身を守るためには、日頃からの備えも大切です。家族全員で取り組み、一人ひとりが津波に備えることで、バラバラに避難しても全員が安全に避難することができます。

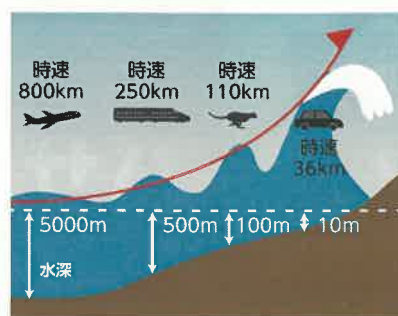


非常持出品の例

- 飲料水（500mLペットボトル2本）
- 非常食（乾パンなど）
- おくすり手帳
- 医薬品（常備薬）
- 感染症対策（マスクなど）
- 携帯電話用充電器（モバイルバッテリー）
- 携帯ラジオ
- 防寒着
- 身分証明書（運転免許証など）
- 貴重品 など
- 懐中電灯
- 雨具（レインコート）



津波の伝わる速さと高さ



津波は、海が深いほど速く伝わります。沖合ではジェット機ほどの速さで波が伝わります。水深が浅くなるほど遅く伝わるため、**津波が陸地に近づくにつれ、減速した波の前方部に後方が追いつくことで波高が高くなります**。

津波から身を守る

1. 地震から身を守る

津波警報などが発表！

2. 津波避難場所に避難

避難場所へ避難完了

3. 避難場所に留まる

津波警報が注意報に

4. 避難所などへ避難

- ・まずは地震による落下物などから**身を守りましょう**。
- ・安全が確保出来たら**火の元を確認！**
- ・大きな地震の後はテレビなどで**津波の情報を収集！**
- ・長くゆっくりとした揺れを感じたら**津波警報などが発表される前に避難開始！**



- ・津波警報などが発表されたら**すぐに避難開始！**（津波は猛スピードで襲ってきます！）
- ・周りの人にも声をかけあって、**率先して避難！**
- ・**原則徒歩で避難を！**（車での避難は渋滞などに巻き込まれ、逃げ遅れてしまう可能性があります。）



- ・津波警報解除まで自宅などには**戻ってはいけません**。
- ・津波は繰り返し襲ってきて、第1波よりも第2波、第3波の方が大きくなることもあります。



- ・自宅が**津波被害にあった場合**は、自宅に戻らず、**市指定避難所や地区独自の避難所、知人宅**などに避難しましょう。
- ※自宅が新耐震基準を満たしていない場合は余震に注意し、異常がある場合は避難所などに避難しましょう。



津波から身を守るために

- 落ち着いて。でも**急いで避難！**
- 自分から**率先して避難を開始！**
- 遠い場所よりも**高い場所（建物）へ！**
- **津波が来た！**からでは**間に合わない！**
- **やむを得ず車を使う場合は避難場所ではなく津波の浸水想定区域外へ避難！**

まちには様々な津波に関する表示板があります！

日頃から、自宅や職場などよく行く場所の周辺で、津波に関する表示板を確認しておきましょう。**避難の際は設置されている避難表示板も参考に！**



災害用伝言サービス

災害時に、自分の安否を大切な人に伝えたり、相手の安否を確認したりすることができる声の伝言板です。インターネットを利用した災害用伝言板（web171）もあります。

災害用伝言ダイヤル
171

毎月1日と15日に体験ができますので、練習してみましょう！災害時には各携帯会社の災害用伝言板も利用できます。

Step.1 **171** 災害用伝言ダイヤル

Step.2 伝言を**録音**する **1** 伝言を**再生**する **2**

Step.3 録音または再生する電話番号を入力
(X)(X)(X)(X)(X)(X) - (X)(X)(X)(X)
固定電話の場合、**市外局番**（0246など）から入力
携帯電話番号でも録音・再生可能です。

Step.4 ガイダンスに従い録音または再生

⑤ 小名浜地区

(小名浜、小名浜岡小名、小名浜大原、小名浜島、小名浜住吉、小名浜南富岡、泉町滝尻、泉町下川、泉町本谷)

このハザードマップは、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される最大の浸水区域と浸水深さを表示したものです。
最大クラスの津波とは科学的知見に基づき設定した、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波のことですが、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
また、震源が近いとより短時間で津波が到達することもあります。
表示する津波浸水の区域や深さ、到達の時間にとられず、長く大きな揺れを感じたときや津波が発生したら、ただちに高台などへ避難しましょう。

避難施設

津波避難場所

津波避難ビル

(津波対応の)避難所

避難場所
(※津波時使用を想定した避難場所)

防災行政無線

防炎行政無線

東日本大震災(3.11)津波浸水区域

津波到達範囲

津波浸水想定区域

10.0m ~ 22.0m

5.0m ~ 10.0m

3.0m ~ 5.0m

1.0m ~ 3.0m

0.5m ~ 1.0m

0.3m ~ 0.5m

0.3m ~ 0.3m

凡 例

津波浸水想定は平成31年3月福島県公表結果を反映しています。
(詳細: 福島県ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045a/tsunami-shinsisoute.html>)

到達時間などについて

地域海岸名 (○○海岸)	福島県沿岸を湾の形状や山付け等の自然条件、東北地方太平洋沖地震津波(3.11)の浸水域図等から区分したものです。
影響開始時間 (○○分)	沖合の代表地点における、地震発生から海岸・海中の人物に影響が出る恐れのある津波による水位変化(初期潮位から±20cm)が生じるまでの時間です。
第一波到達時間 (○○分)	沖合の代表地点における、津波水位波形から判断した第一波目のピークが到達する時間です。
最大水位 (T.P.+○○m)	海岸線(T.P.+10mを境とした陸海境界)の地点における、津波の最大水位のことです。
最大遡上高 (T.P.+○○m)	各地の津波が到達する箇所の標高の最高値のことです。遡上高とは津波が陸上を駆け上った際の最高地点の標高をいいます。

※T.P.: 東京湾平均海面といひ、全国の標高の基準となる海水面の高さ



避難施設一覧

避難施設	住所
小名浜第三小学校	小名浜住吉字棚町7-1
小名浜第二小学校	小名浜愛宕町3-2
小名浜第一小学校	小名浜岡小名字台ノ上1-1
小名浜東小学校	小名浜諏訪町37-1
小名浜西小学校	小名浜大原字小滝山3
小名浜第一中学校	小名浜岡小名字山田作9-1
小名浜第二中学校	小名浜岡小名字池袋11
小名浜臨海工業団地 大畑緑地	泉町下川字大剣1-5
泉公民館	泉町四丁目13-11
出羽神社	泉町下川字神山前119
あすか製薬株式会社	泉町下川字大剣1
イオンモールいわき小名浜	小名浜字辰巳町79
滝尻3号公園	泉滝尻三丁目5-1

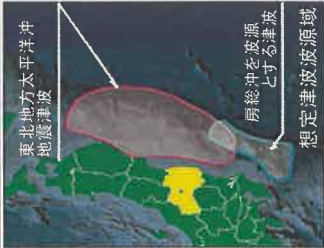
いわき市沿岸全体図

・このハザードマップは、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される最大の浸水区域と浸水深さを表示したものです。
・最大クラスの津波とは科学的知見に基づき設定した、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波のことですが、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
・また、震源が陸に近いより短時間で津波が到達することもあります。
・表示する津波浸水の区域や浸さず、到達の時間にとらわれず、早く大きな揺れを感じたときや津波が発生したら、ただちに高台などへ避難しましょう。

想定津波について

このハザードマップの津波浸水想定は、津波の高さが大きい、過去に福島県沿岸に襲来した津波(①)と今後来襲する可能性がある津波(②)の2つの津波を最大クラスの津波として設定しています。
この2つの津波を対象にそれぞれ浸水シミュレーションを行い、その結果を重ね合わせ、各地点で最大となる浸水区域と浸水深さを抽出した結果がこのハザードマップに反映されています。
また、それぞれで最短となる影響開始時間や津波到達時間を掲載しています。

対象津波	①東北地方太平洋沖地震津波	②房総沖を波源とする津波
マグニチュード	Mw=9.0 Mt=9.1~9.4	Mw=8.4 Mt=8.6~9.0
使用モデル	内閣府モデル (3バリエーション0.3~1.3倍)	茨城県モデル
説明	平成23年3月11日、三陸沖を震源とした地震により発生した津波。 東日本大震災を中心に甚大な被害をもたらした津波の発生を想定。 地震発生直後、太平洋沖に発生した津波の発生を想定。 地震発生直後、太平洋沖に発生した津波の発生を想定。	地震発生直後、太平洋沖に発生した津波の発生を想定。 地震発生直後、太平洋沖に発生した津波の発生を想定。 地震発生直後、太平洋沖に発生した津波の発生を想定。



津波シミュレーションの条件

津波の浸水シミュレーションは次の条件をもとに行われています。	
潮位	想定平均高潮位 T.P.+0.68m (東京湾平均高潮より奥田高が68cm高い)
河川内の水位	平水位または潮位平均高潮位と同じ水位
地震動による地震変動	全域で50cm以上変動
地形条件	平成30年度半端点の国土地理院の地形データを用いた高さ
堤防などの構造物の条件	構造物は地震による揺れや崩壊を考慮し、また津波が構造物を破壊した際に浸水区域は浸水されるものと想定

※想定平均高潮位には各月の最高潮位を平均した潮位のことです

※Mwはモーメントマグニチュード、Mtは津波マグニチュード

凡例

避難施設

津波避難ビル

津波避難場所

(津波を対象とした)避難場所

避難施設

津波避難ビル

津波避難場所

(津波を対象とした)避難場所

東日本大震災(3.11)津波浸水区域

津波到達範囲

津波浸水想定区域

10.0m ~ 20.0m

5.0m ~ 10.0m

3.0m ~ 5.0m

1.0m ~ 3.0m

0.5m ~ 1.0m

0.3m ~ 0.5m

0.1m ~ 0.3m

避難施設

津波避難ビル

津波避難場所

(津波を対象とした)避難場所

東日本大震災(3.11)津波浸水区域

津波到達範囲

津波浸水想定区域

10.0m ~ 20.0m

5.0m ~ 10.0m

3.0m ~ 5.0m

1.0m ~ 3.0m

0.5m ~ 1.0m

0.3m ~ 0.5m

0.1m ~ 0.3m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3Jhs 560